工事説明書

脱水洗濯機

W4400H, W4600H , W4850H , W41100H

タイプ W4.H.

Clarus Control

オリジナルの説明

438 9211-91/JP
2016.08.19

目次

安全対策について 5
製品仕様 7
設置 11
設置位置と床面 11
輸送用止め金具の取外 11
計量装置付きの機種 11
給水の接続 16
蒸気の接続 17
圧縮空気の接続 18
排水 20
換気システムの接続 20
粉洗剤用投入器 21
外付け液体洗剤自動投入器の取付 21
電気系統の接続 22
電源ケーブルの交換 23
傾転機能 28

製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

布地の水洗い用洗剤のみを使用してください。
ドライクリーニング剤の使用は絶対に避けてください。

本機のドアロックを改ざんしてかけなくてすむようにすることは、いかなる状況下でもおやめください。

機械に不具合が生じる場合は、できる限り迅速に、担当者に報告する必要があります。使用者および他の方々の安全のためにも重要です。

本機に変更を加えないでください。

資格のある人員のみが修理を行うことが行できます。

認可されたスペアパーツのみを使用してください。

修理を実施する場合やパーツを交換する場合、電源を切る必要があります。

電源がオフなったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている（プラグが外された状態）ことを確認する必要があります。機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。

ワイヤに関する規則に従い、事前に機械に多極スイッチを取り付け、設置作業や修理作業を実施しやすくします。

ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。

乾燥させる衣類の最大量：W4400H:45 kg、W4600H:65 kg、W4850H:90 kg、W41100H:120 kg

音圧レベル：W4400H:75 dB(A)、W4600H:76 dB(A)、W4850H:73 dB(A)、W41100H:73 dB(A)
設置：W4400H:< 70 dB(A)、W4600H:< 70 dB(A)、W4850H:< 70 dB(A)、W41100H:< 70 dB(A)

次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK:

- 注意：本機を公共の場に設置しないでください。

他の国の追加要件：

- 身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用することができません。お子様が本機で遊ばないよう監視してください。

注意

この機械の用途は、水を使用しての洗濯のみとなっています。

本機に対し、ホースで水をまかないでください。

水滴により、電子機器 (およびその他のパーツ) へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

記号

	注意
	本機の使用前に説明書をお読みください

製品仕様

		W4400H	W4600H	W4850H	W41100H
内胴ドラム、容量	リットル	400	600	850	1100
直径	mm	920	980	1220	1220
回転速度					
洗濯時	rpm	37	36	42	42
脱水時	最大 rpm	825	800	720	663
加熱					
蒸気		36	38.4 または 54	–	–
温水		x	x	x	x
温水		x	x	x	x
G ファクター		350	350	350	300
重量、正味	kg	1095-1450*	1380-1480	2200-2300*	2300-2400*
音圧レベル	dB (A)	75	76	73	73

* 正確な重量は、付属品の有無によって異なります。

接続

		W4400H	W4600H	W4850H	W41100H
給水バルブ					
	接続 DN	25	25	32	32
	BSP	1"	1"	1 1/4"	1 1/4"
推奨水圧 バルブ開	kPa	200-600	200-600	200-600	200-600
給水バルブの 作動範囲	kPa	50-1000	50-1000	50-1000	50-1000
300 kPa 時の 給水能力	リットル/分	110	110	150	150
排水バルブ	外径/mm	110	110	110	110
排水能力	リットル/分	400	400	400	400
蒸気バルブ					
	接続 DN	20	20	32	32
	BSP	3/4"	3/4"	1 1/4"	1 1/4"
推奨蒸気圧	kPa	300-600	300-600	300-600	300-600
蒸気バルブの 作動範囲	kPa	50-800	50-800	50-800	50-800
圧縮空気					
	接続 DN	6	6	6	6
	BSP	1/8"	1/8"	1/8"	1/8"
推奨圧縮空気圧	kPa	500-700	500-700	500-700	500-700
消費量	リットル/時	20	20	20	20

寸法

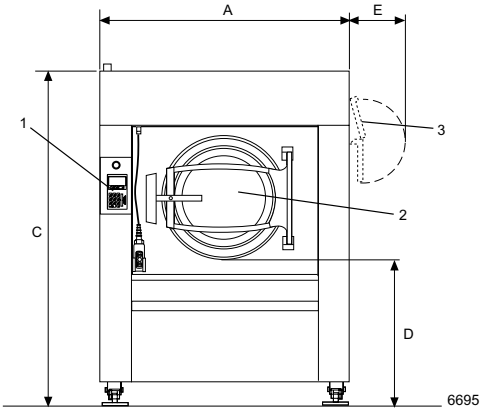
W4400H

A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V
1325	1450	1975	870	300	1825	270	660	525	425	895	1385	380	435	2205	1140	2235	950	345	370

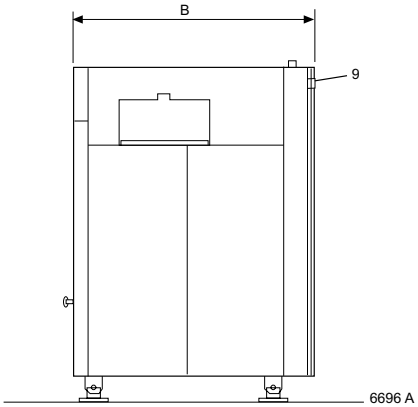
W4600H

A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V
1390	1585	1975	870	300	1825	270	660	525	425	960	1385	380	435	2200	1120	2225	935	300	325

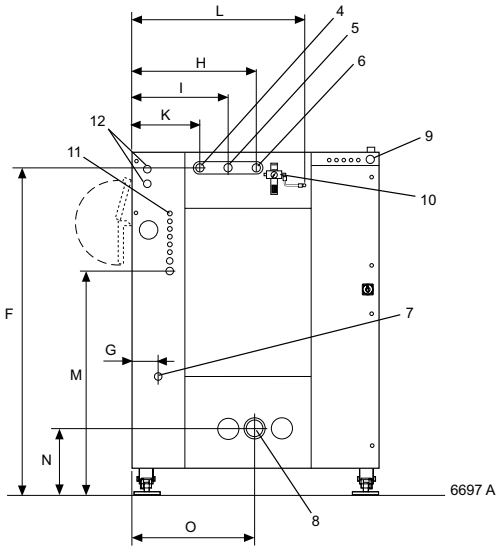
1 コントロールパネル
2 ドア開口部 ø 535
3 粉末洗剤投入器（オプション）
4 冷水接続
5 温水接続
6 第 3 の給水接続（オプション）
7 蒸気接続
8 排水
9 電気接続
10 圧縮空気
11 外付け液体供給口 ø 10 - 6 個、ø16 - 1 個、ø 20 - 1 個
12 給水接続、洗剤投入器（オプション）



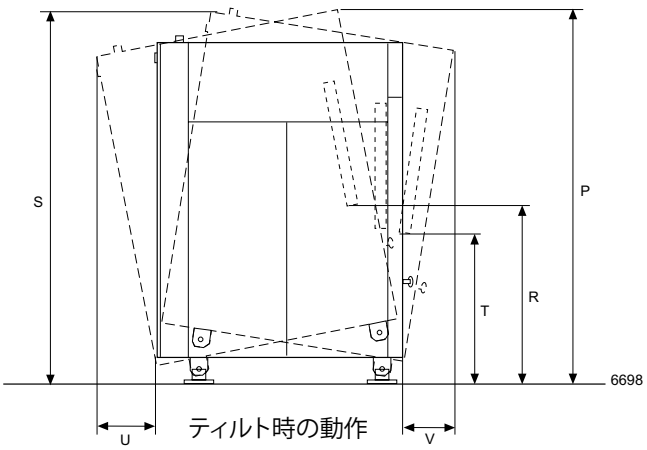
前面



右側面



背面



ティルト時の動作

寸法

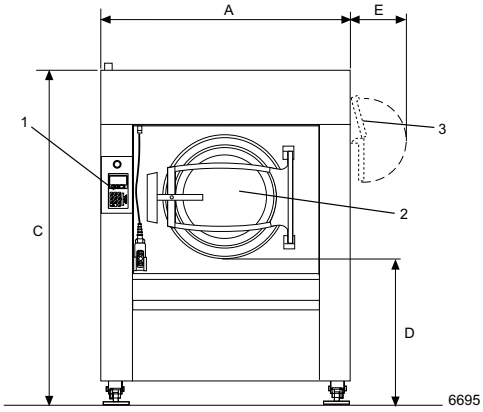
W4850H

A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V
1640	1635	2230	995	380	2135	1070	830	635	445	1140	1660	435	820	2410	1175	2480	960	285	400

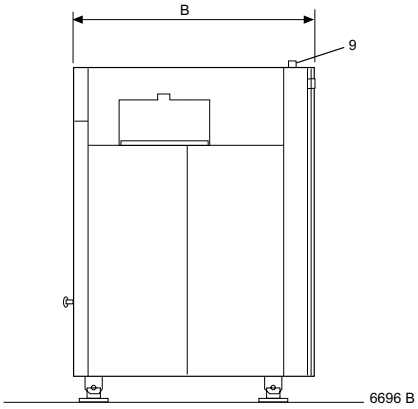
W41100H

A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V
1640	1850	2230	995	380	2135	1070	830	635	445	1140	1660	435	820	2400	1160	2480	955	240	335

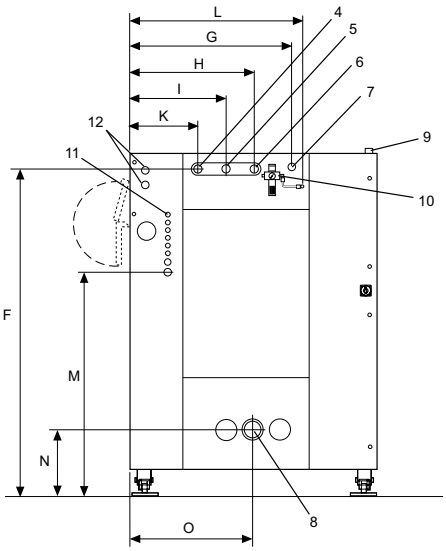
1 コントロールパネル
2 ドア開口部 ø 700
3 粉末洗剤投入器（オプション）
4 冷水接続
5 温水接続
6 第 3 の給水接続（オプション）
7 蒸気接続
8 排水
9 電気接続
10 圧縮空気
11 外付け液体供給口 ø 10 - 6 個、ø16 - 1 個、ø 20 - 1 個
12 給水接続、洗剤投入器（オプション）



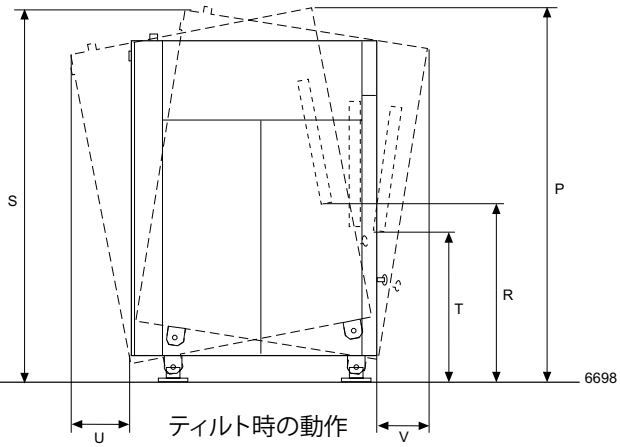
前面



右側面



背面



ティルト時の動作

製品仕様

	W4400H	W4600H	W4850H	W41100H
動周波数 Hz	13.8	13.3	12.0	11.1
脱水時の最大床荷重 kN	15.8 ± 1.2	16.9 ± 1.4	25.9 ± 1.5	27.9 ± 2.0

モーター

電力消費量 kW	5.5	6	6.7	6.8

騒音レベル

音圧レベル* dB	75	76	73	73
絶縁付き	< 70	< 70	< 70	< 70

* 作業場での荷重排出音圧:

設置

オプション装置（ティルト機能など）付きの洗濯機設置については、本書末尾の「オプション装置」も参照してください。

納品時の脱水洗濯機はパレットにボルトで固定され、搬送用の木枠に入っています。場合によっては、耐水/耐塵梱包による納品もあります。洗濯機をリフトで持ち上げる方向と洗濯機の重心は、梱包上に記されています。

設置位置と床面

覆いのない床ドレンの上を洗濯機がまたがないようにしてください。床面は凹凸がなく、水平であることを確認します。床面は諸条件に対する耐性が必要です。「製品仕様」を参照してください。

設置時の間隔は下記の通りおすすめします。

1
- 洗濯機と洗濯機背面の壁との間隔は、最低 1 メートル
- 洗濯機側面と壁、あるいは洗濯機側面同士の間隔は、最低 0.5 メートル

輸送用止め金具の取外

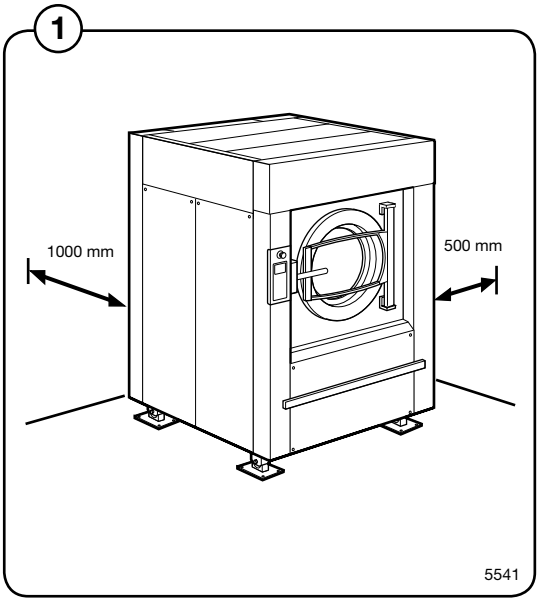
2
- 梱包を解きます。洗濯機の背面カバー、側面パネル、及び前面下部のパネルを取り外します。

3
- 洗濯機の外フレームと内フレームをそれぞれパレットに固定している 8 本のボルトを取り外します。

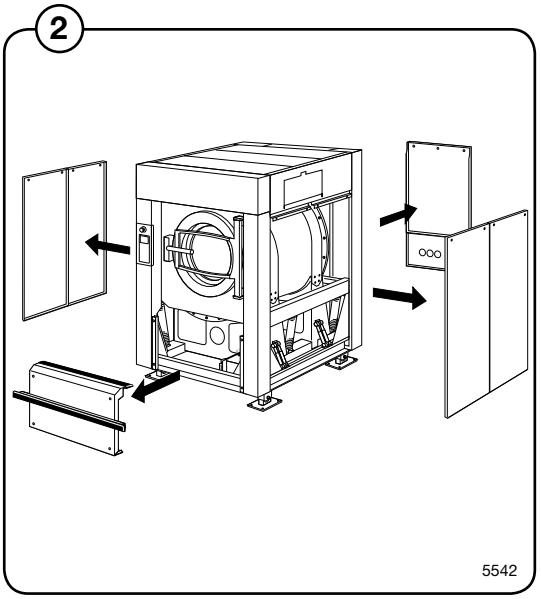
計量装置付きの機種

洗濯機脚部に設置されているロードセルは強打や衝撃に対して敏感です。

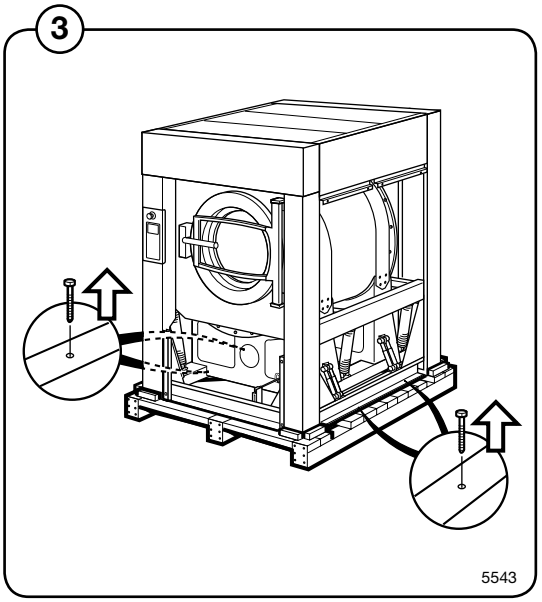
1



2

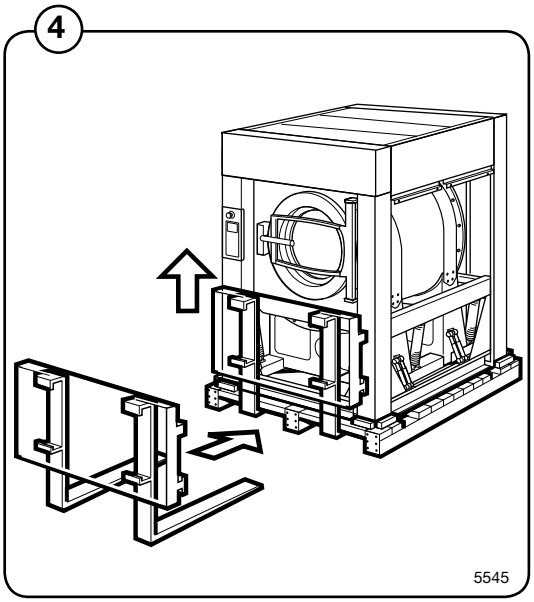


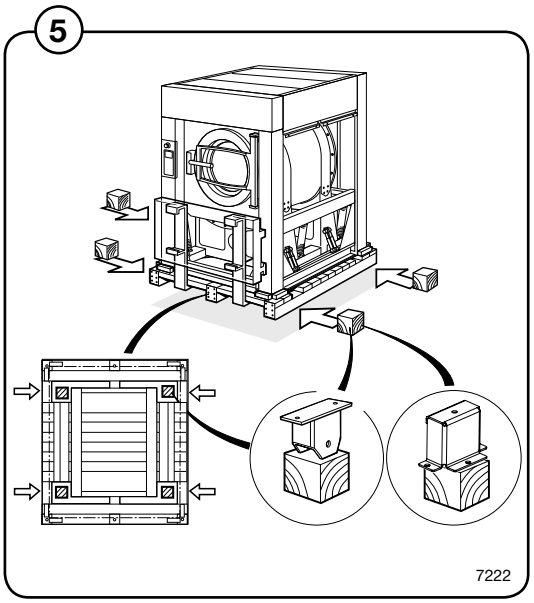
3



4 • フォークリフトで洗濯機を持ち上げます。

5 • 同梱されている４つの木片を、洗濯機の各脚（外フレーム）の下に当たるパレットの凹部に１つずつ取り付けます。

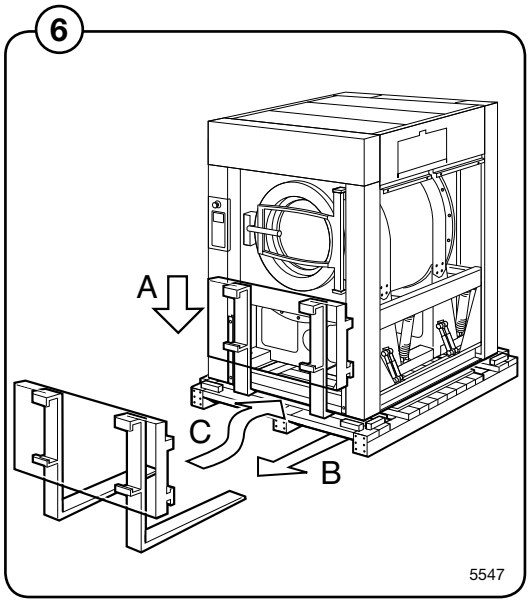


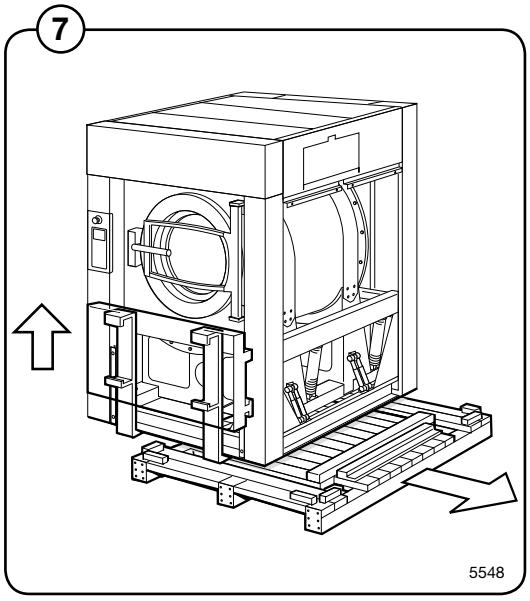


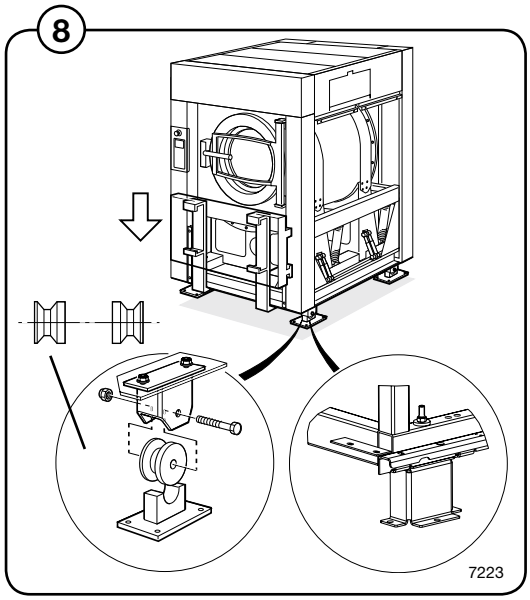
6
- 洗濯機を下ろし（A）、フォークリフトを抜きます（B）。この段階では洗濯機は４つの木片の上に乗っており、パレットは洗濯機から離れて床に落ちています。次に、洗濯機とパレットの間にフォークリフトを慎重に入れます（C）。

7
- 洗濯機を持ち上げ、パレットと木片を取り除きます。

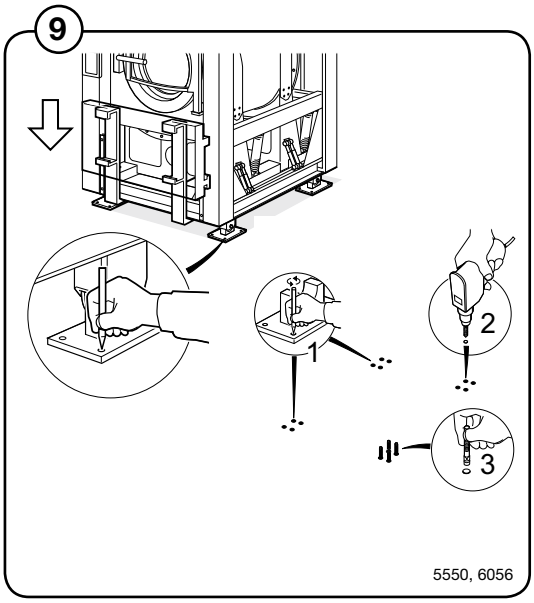
8
- 脚は、固定脚と回転脚の2種類あります。回転脚は、ティルトまたは計量機能のある機械で使用します。ティルトまたは計量機能のある機械では、機械の脚にネジで付けてください。
- ティルト機能付きの場合は、保護プレートを固定するためのコーナーポストをこの段階で取り付けることをおすすめします。位置センサーもこの段階で取り付けてください（詳細は「ティルト機能（オプション）」参照）。
- ティルト保護プレートを正しく取り付けるには、ホイールの幅の広い方を本機の内側に向けることが重要です。







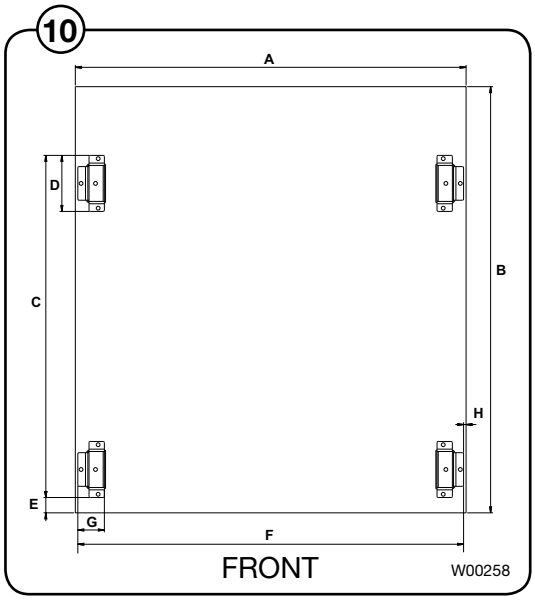
(9) • 洗濯機を設置場所に置きます。脚の位置に印をし、ドリルで固定用の穴を開けます。穴の直径は 15 mm です。



(10)

標準機種向け

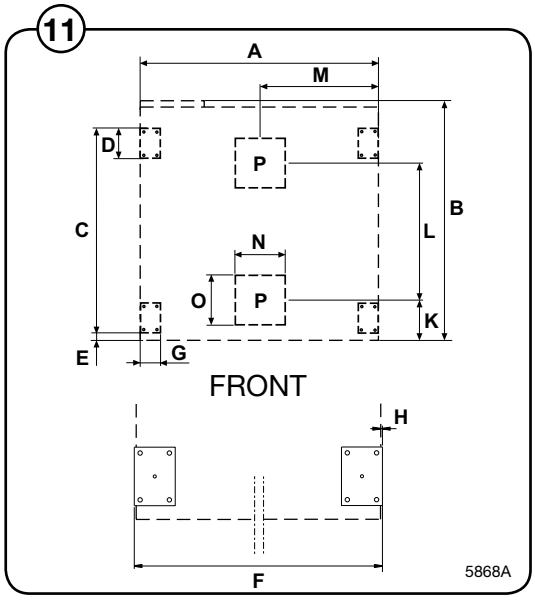
	W4400H	W4600H	W4850H	W41100H
A	1325	1390	1640	1640
B	1445	1605	1635	1850
C	1160	1315	1370	1585
D	190	190	190	190
E	50	50	50	50
F	1310	1370	1610	1610
G	90	90	90	90
H	10	10	15	15



(11)

ティルトまたは計量機能のある機種向け

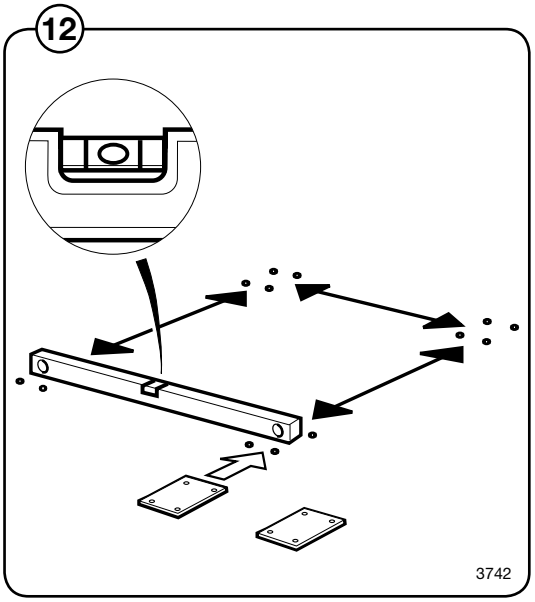
	W4400H	W4600H	W4850H	W41100H
A	1325	1390	1640	1640
B	1445	1605	1635	1850
C	1170	1325	1380	1600
D	200	200	200	200
E	50	45	45	45
F	1340	1400	1640	1640
G	140	140	140	140
H	-10	-10	0	0
K	275	275	270	270
L	715	870	925	1140
M	665	695	820	820
N	335	335	335	335
O	335	335	335	335
P	ティルト装置			

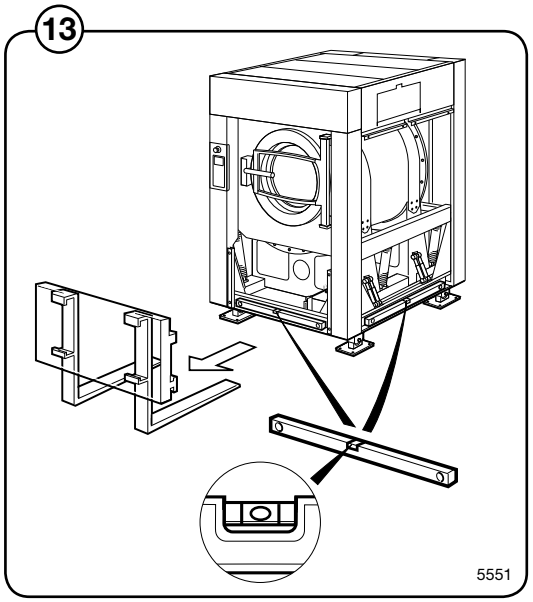


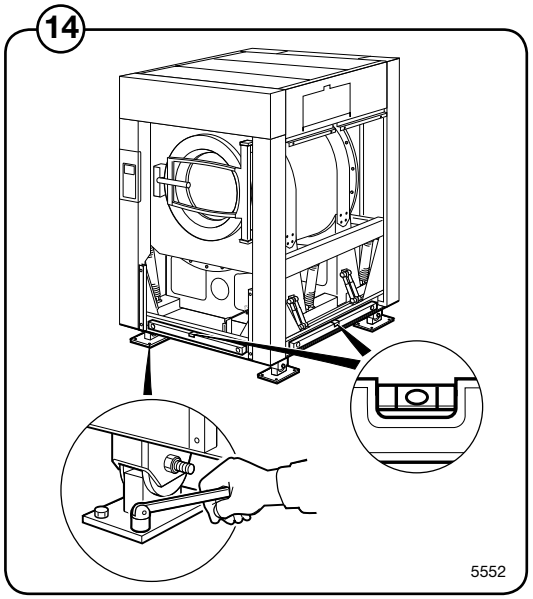
⑫ 水準器で水平度を確認し、必要な場合にはワッシャや金属板の小片などで補正します。

⑬ • 洗濯機を設置場所に置きます。外フレームに水準器を当てて、洗濯機が水平に立っていることを確認します。また、４本の脚に均等に乗っており、がたついたりしないことも確認します。

⑭ • ボルトを用い脚を床に固定します。最後に、がたつきがないか、水平に立っているかをもう１度確認します。







給水の接続

(15) 洗濯機への給水ホースには、設置やサービス点検を容易にするため、手動のシャットオフバルブを使用してください。フィルタを手動シャットオフバルブに取り付けます。逆止弁を使用する際は、地域の規格に従ってください。

ホースは高圧、2.5 MPa 用のものを使用してください。

水圧の条件は下記のとおりです。

- 推奨　300-600 kPa
- 限界値　最小 50 kPa
最大 1 MPa

ホースは洗濯機に接続する前に 1 度水を通し、内部を洗浄します。

ホースにはたわみを持たせてください。ティルト機能付きの機種の場合、たわみは特に大切です。ホースを洗濯機に直接接続することは許可されていません。

ホースの接続は次のとおりです。

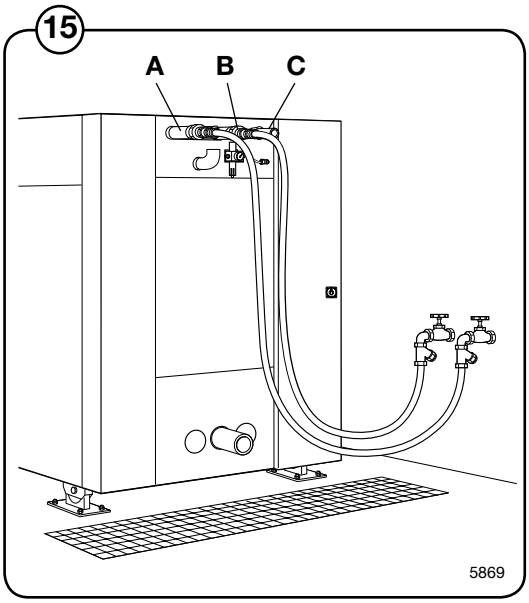
- 冷水は (A) に接続
- 温水は (B) に接続
- 第 3 のホースは (C)（第 3 の給水がある場合）に接続

W4400H, W4600H

A、B、C のサイズは DN 25 (1" BSP) です。

W4850H, W41100H

A、B、C のサイズは DN 32 (1 1/4" BSP) です。



蒸気の接続

(16) 供給ホース(A)は、設置やサービス点検を容易にするため、手動シャットオフ式のバルブを使用してください。フィルタを手動シャットオフバルブに取り付けます。ホースを洗濯機に直接接続することは許可されていません。

フィルタと洗濯機の間に認可されたホースを接続します。蒸気圧の条件は下記のとおりです。

- 推奨 300-600 kPa
- 限界値 最小 50 kPa

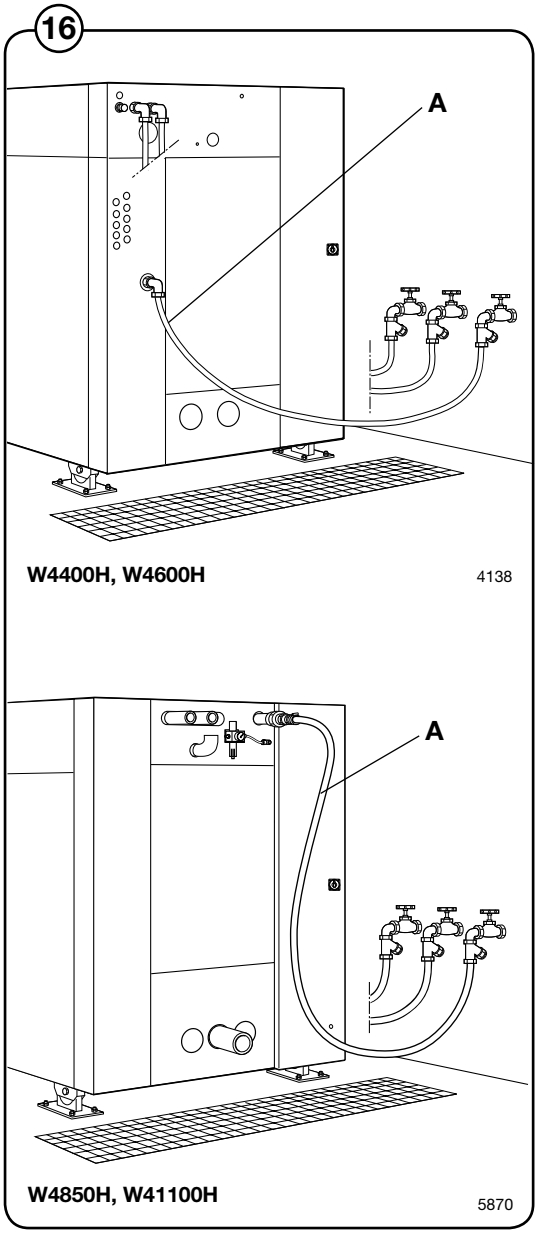
ホースにはたわみを持たせてください。ティルト機能付きの機種の場合、たわみは特に大切です。

W4400H, W4600H

サイズは DN 20 (3/4" BSP) です。

W4850H, W41100H

サイズは DN 32 (1 1/4" BSP) です。

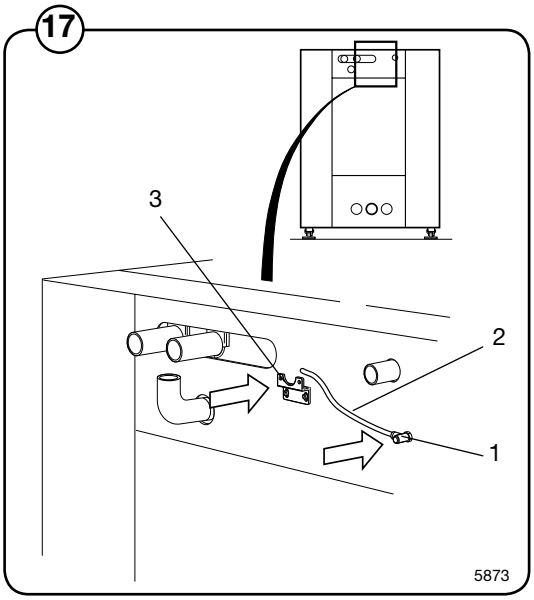


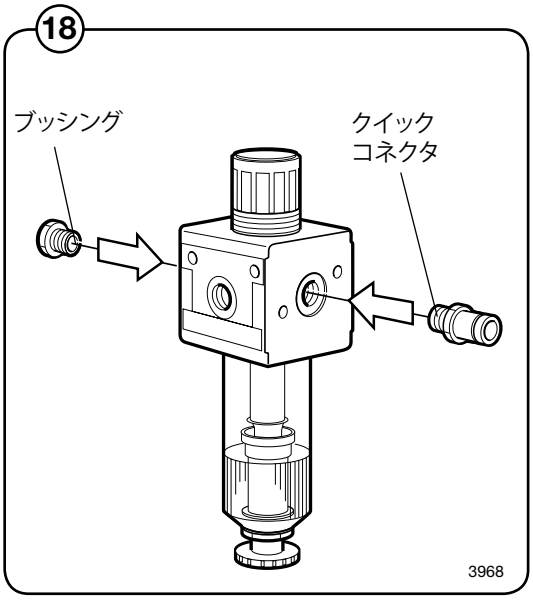
圧縮空気の接続

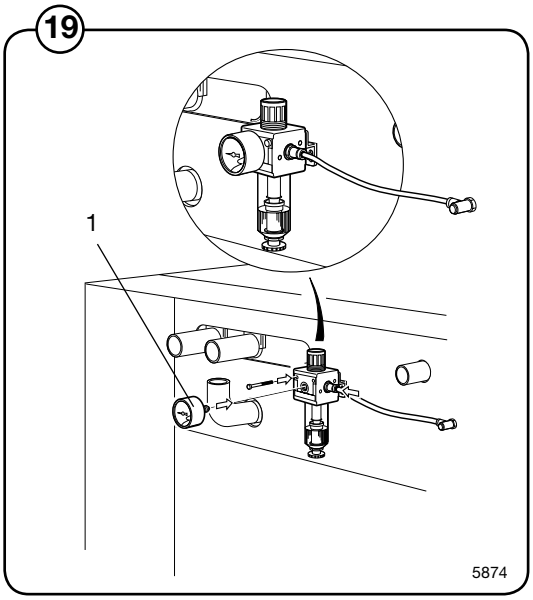
(17) ウォータセパレータ付きの圧力レギュレータを洗濯機に取り付ける必要があります。洗濯機の納品時には、圧力レギュレータ用の角度付きカップリング（1）、ホース（2）及びブラケット（3）が予め取り付けられています。

(18) 圧力レギュレータにホース用のクイックコネクタとブッシング（圧縮空気供給ホース）を取り付けます。

(19) ネジを２本用い、レギュレータをブラケットに固定します。クイックコネクタを用い、圧縮空気用のホースを接続します。圧力ゲージをネジで固定します（1）。





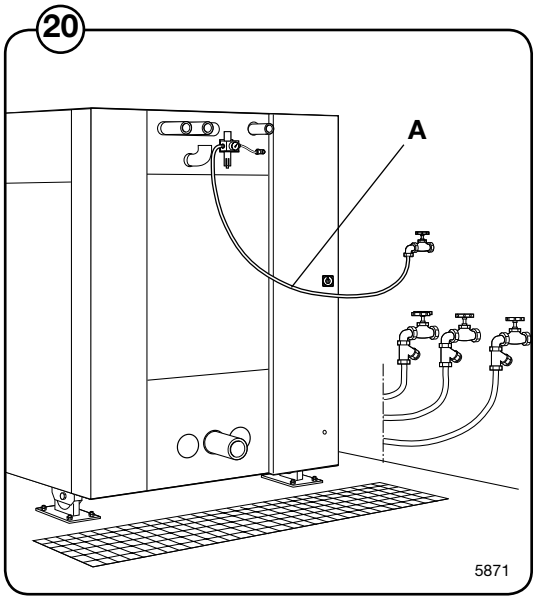


(20) 圧縮空気供給ホースを圧力レギュレータのブッシングに接続します。ホースにはたわみを持たせてください。ティルト機能付きの機種の場合、たわみは特に大切です。

接続ホースは最低 1 MPa 用のものを使用してください。

圧縮空気供給の条件は下記のとおりです。

- 推奨圧力：500-700 kPa



排水

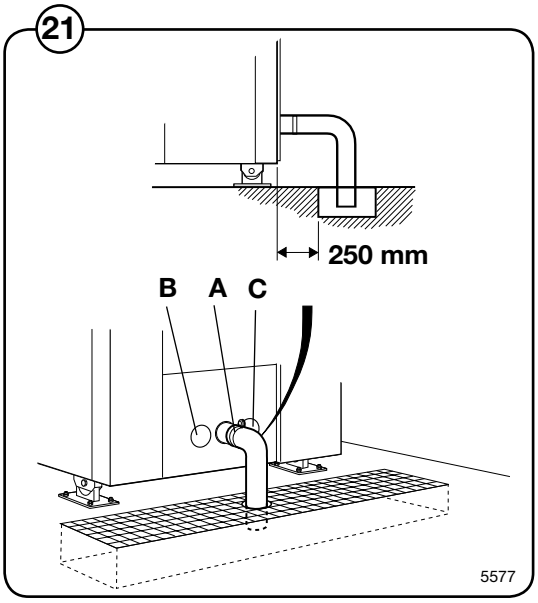
(21) 洗濯機の排水口（A）外径は 110 mm です。洗濯機と排水溝などとの間隔は、少なくとも 250 mm を確保してください。

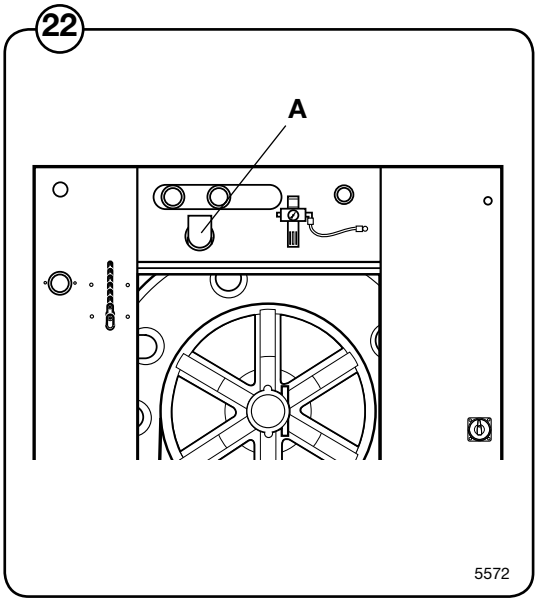
排水接続にホースまたはパイプを取り付けます。水流が妨げられないよう、配水管の屈曲やねじれにご注意ください。配水管は、排水溝などの中で洗濯水を排出するようにします。ティルト機能付きの機種は、ティルト時にも排水管の機能に支障がないようにしてください。

洗濯機に第 2 の排水口がある場合は、B と C も床の排水溝につないでください。

換気システムの接続

(22) 洗濯機のドラム用換気口（A）は、洗濯機の背面にあります。漂白剤やその他の添加剤を使用する場合は、塩ビ管などを使用して換気システムに接続してください。





粉洗剤用投入器

粉洗剤のみを投入器で投入する場合、次の処置をおすすめします。

(23) 各カップの底に 5 mm の穴を 2 つ開け、水が溜まらないようにします。

外付け液体洗剤自動投入器の取付

電気接続は知識のある有資格者のみが行うようにしてください。

洗濯機に接続する外付け装置は、全て **CE/EMC** 承認の製品である必要があります。

(24) 本機は、外部洗剤投入システムまたは水再利用システムなどの接続に対応しています。

配送時、接続部は閉じています。ホースを接続する穴をドリルで開け、使用する接続部を開きます。

ご注意!

穴を開けた後、バリがないことを確認してください。バリを削除する際は、バリがサイホンブレーカーに落ちないようにしてください。

A = ø 10 mm、ドリル = ø 5 mm (外部洗剤投入システム用に使用).

接続をすることで同封のテンプレートを使用し、ドリルで穴をあけてください。

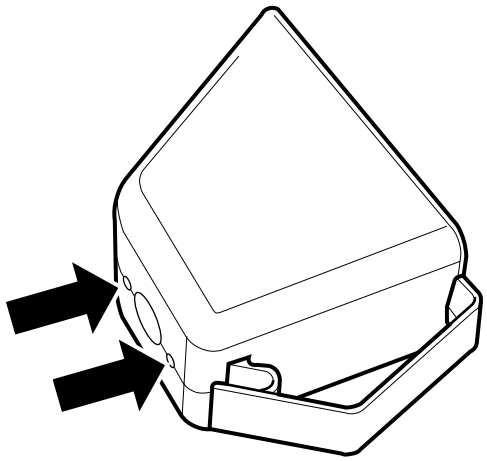
B = ø 16 mm、ドリル = ø 11 mm (外部洗剤投入システム用に使用).

C = ø 20 mm、ドリル = ø 15 mm (外部洗剤投入システム用に使用).

(25) 外付け投入器は、コインオペレーションユニット内、上部ターミナルを介して X146 に接続します。洗剤の投入部は合計 8 個あります。同ターミナル上の数は、洗濯プログラム設定時の液体洗剤機能の番号に一致しています。

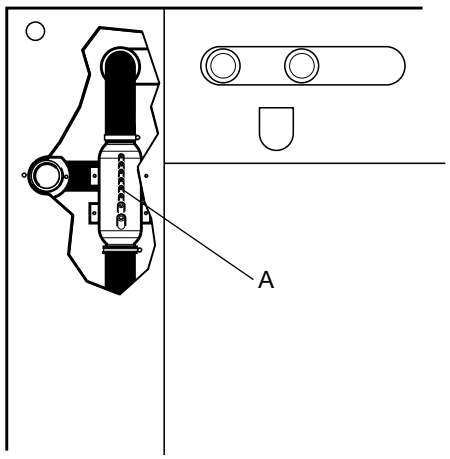
全ての出力に共通のゼロ値は、ニュートラル端子 X146 にあります。230 V max 0.5 A は、電圧コントロールのみを意図しています。本機械に洗剤投入器が付着していない場合、X140 から追加信号が受信されます。

(23)



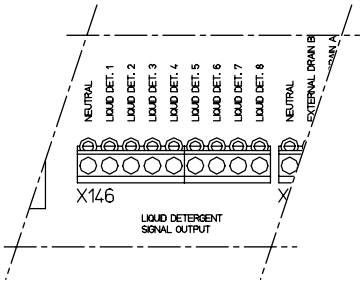
0355

(24)



5875

(25)



6527

電気系統の接続

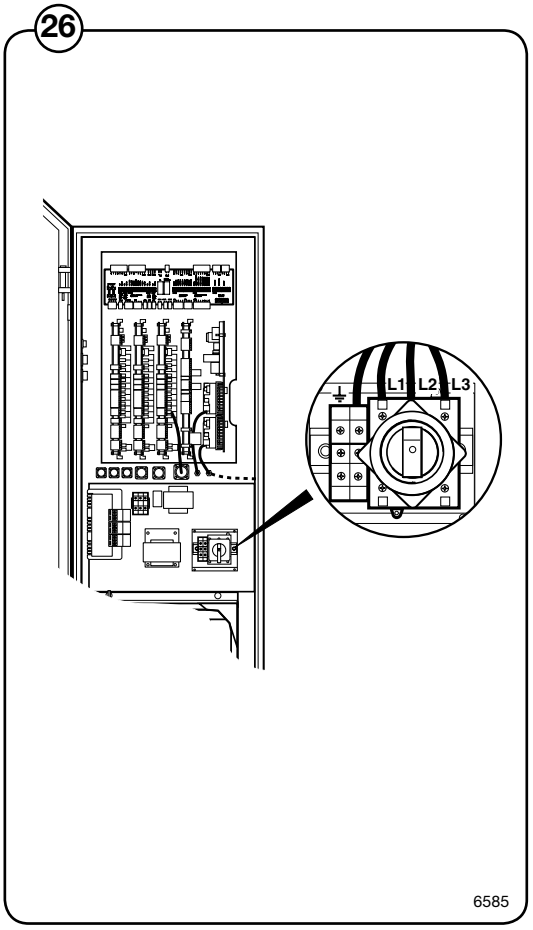
電気接続は知識のある有資格者のみが行うようにしてください。また、接地線が正しく接続されていることを確認してください。

洗濯機への電源供給用ケーブルは、たわみを持たせてください。ティルト機能または計量装置付きの機種の場合、たわみは特に大切です。

(26) 独自の回路遮断器を持つ別の主回路に、洗濯機を接続します。遮断器に求められる定格は次ページの表のとおりです。
ケーブルを洗濯機背面のコンパートメント内のメインスイッチに接続します。図参照。

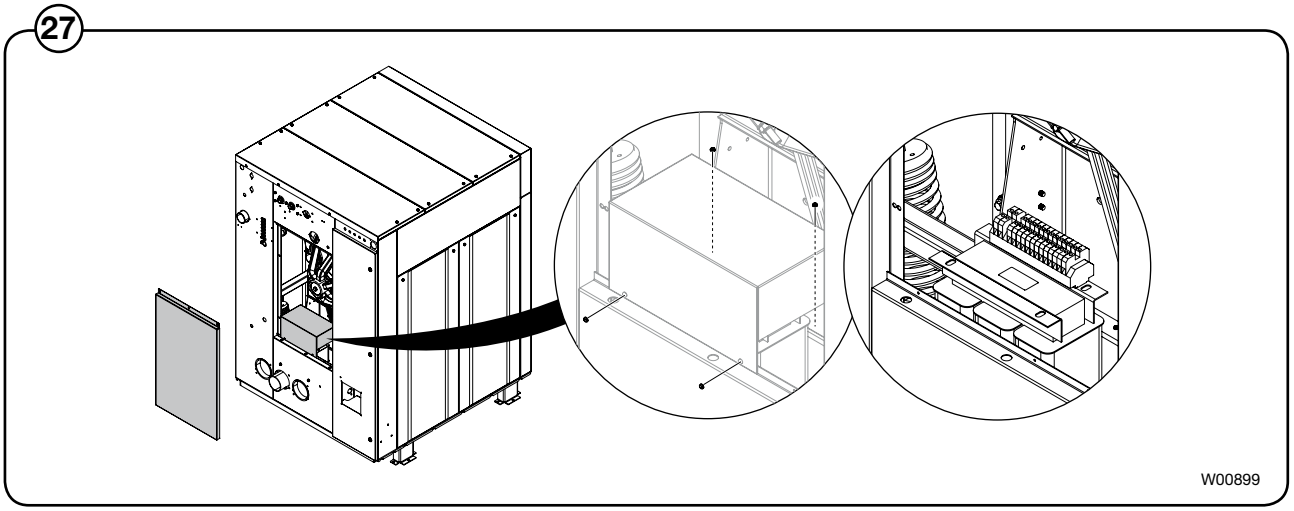
使用する電気ケーブルは、適正なサイズ/定格のものを選定してください。適正なサイズ/定格に関しては、地域または国の規格に従ってください。

漏電遮断器（または RCD = 残余電流器）を使用する場合、洗濯機のみを保護するように設置してください。



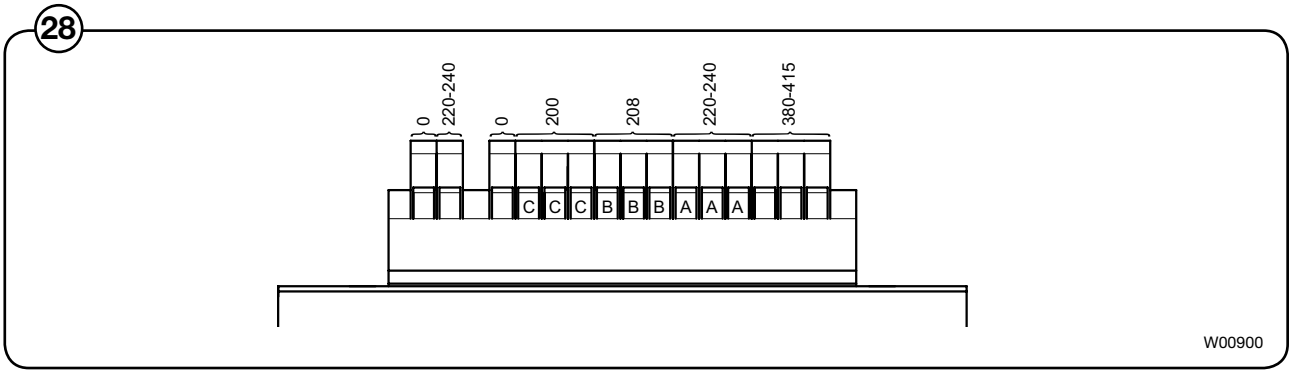
208 V または 200-208 Vへの切り替え

(27) リアセクションの中心にあるプレートを取り外し、トランスフォーマーを覆う保護プレートを取り外します。

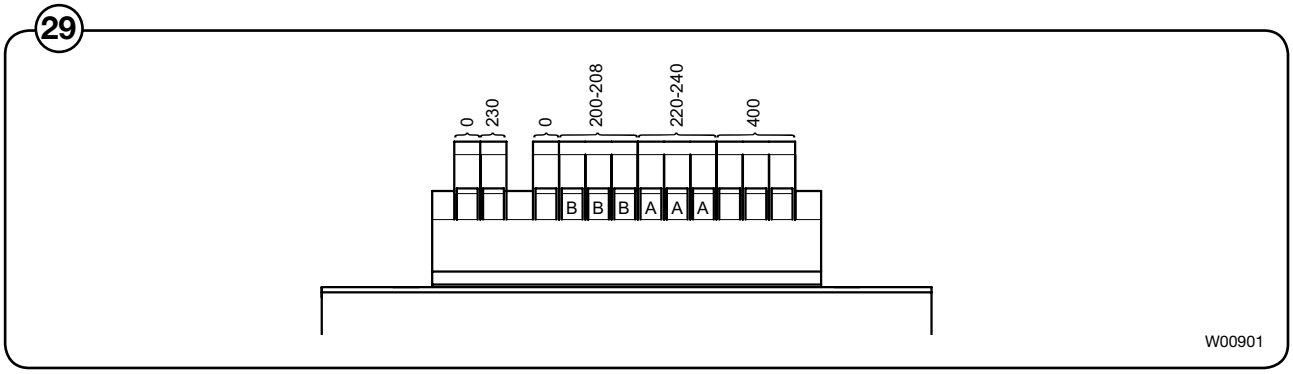


次のように主電源をトランスフォーマーに再接続します。

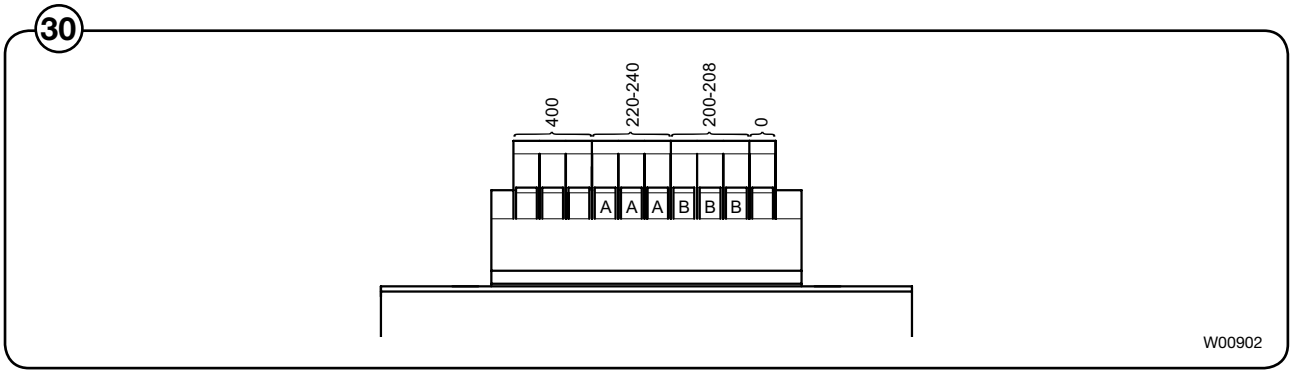
(28) **W4400H**
208 Vの場合、ケーブルを位置Aから位置Bに移します。
200 Vの場合、ケーブルを位置Aから位置Cに移します。
他のケーブルには変更はありません。



(29) **W4600H**
200-208 Vの場合、ケーブルを位置Aから位置Bに移します。
他のケーブルには変更はありません。



(30) **W4850H-W41100H**
200-208 Vの場合、ケーブルを位置Aから位置Bに移します。
他のケーブルには変更はありません。



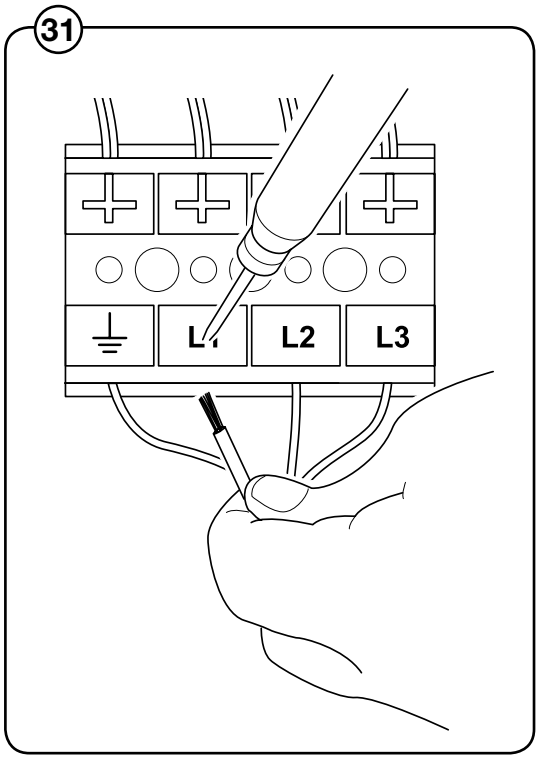
電源ケーブルの交換

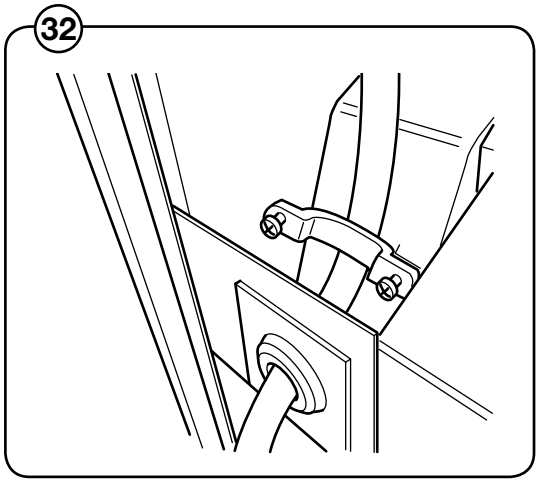
- 機械への電源を切ってください。
- サプライユニットのカバープレートを取り外します。

(31) • ターミナルブロックにつながっているケーブルを緩めます。

(32) • ケーブルを固定しているプラスチックホルダを緩め、穴からケーブルを引き抜きます。

- 反対の順番で新しいケーブルを取り付けてください。





W4400H

加熱方式	主電	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
加熱なし	220-240V 3 ~	50/60	36.0	38.0	100
	380-415V 3 ~	50/60	32.8	34.8	63
	440/480V 3 ~	50/60	36.0	38.0	63/50
	220V 3 ~	50/60	32.9	35.0	100
	200V 3 ~	50/60	27.2	85.6	100
	400V 3 ~	50	36.0	38.0	63
蒸気	220-240V 3 ~	50/60	-	4.5	20
または	380-480V 3 ~	50/60	-	4.5	10
加熱なし	200V 3 ~	50/60	-	4.5	16
	400V 3 ~	50	-	4.5	10

W4600H

加熱方式	主電	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
加熱なし	220-240V 3 ~	50/60	38.4/54.0	41.0/56.6	125/160
	380-415V 3 ~	50/60	38.4/54.0	41.0/56.6	63/100
	440/480V 3 ~	50/60	38.4/54.0	41.0/56.6	63/80
	220V 3 ~	50/60	49.4	52.0	160
	200V 3 ~	50/60	29.0/40.8	31.6/43.4	100/160
	400V 3 ~	50	38.4/54.0	41.0/56.6	63/100
蒸気	220-240V 3 ~	50/60	-	4.8	20
または	380-480V 3 ~	50/60	-	4.8	16
加熱なし	200V 3 ~	50/60	-	4.5	20
	400V 3 ~	50	-	4.5	10

W4850H

加熱方式	主電	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
蒸気	220-240V 3 ~	50/60	-	6.3	25
または	380-480V 3 ~	50/60	-	6.3	16
加熱なし	200V 3 ~	50/60	-	6.3	35
	400V 3 ~	50	-	6.3	16

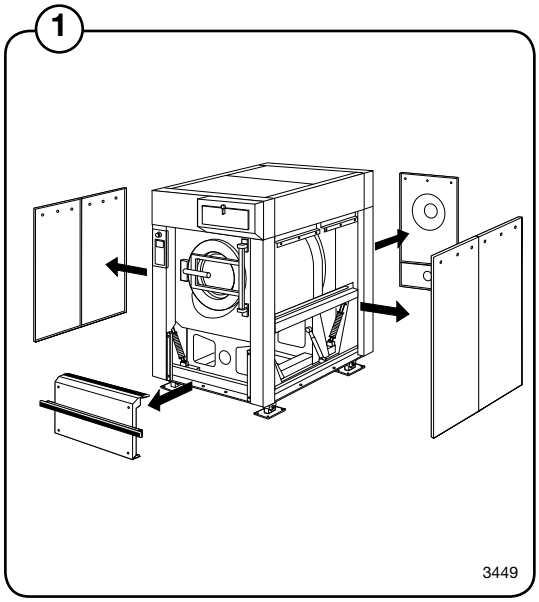
W41100H

加熱方式	主電	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
蒸気	220-240V 3 ~	50/60	-	6.3	25
または	380-480V 3 ~	50/60	-	6.3	16
加熱なし	200V 3 ~	50/60	-	6.3	35
	400V 3 ~	50	-	6.3	16

傾転機能

据付

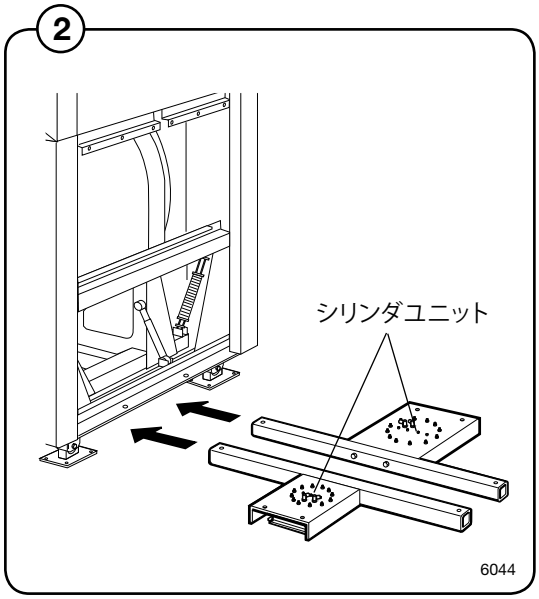
1 本機械の側面パネルと低前面パネルと背面カバーを取り外してください。



2 前後両方に傾く機種:

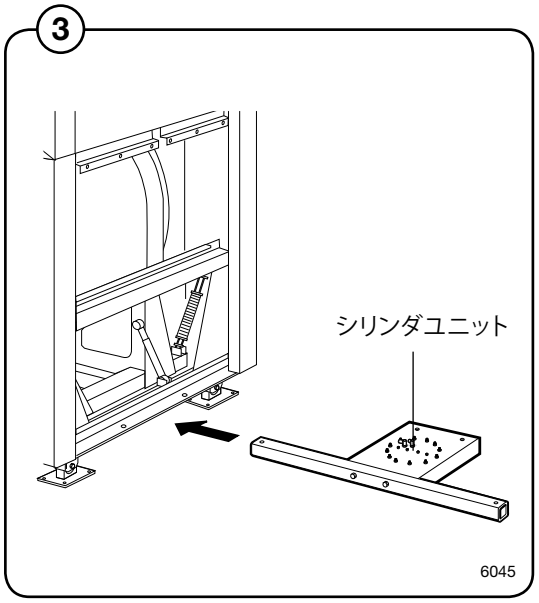
機械フレームの下に、機械の横から2つのシリンダユニットを挿入してください。

ビニール床材が施されている場合:
床材を摩耗から保護するため、各シリンダユニットの下にステンレス鋼のシートを敷いてください。



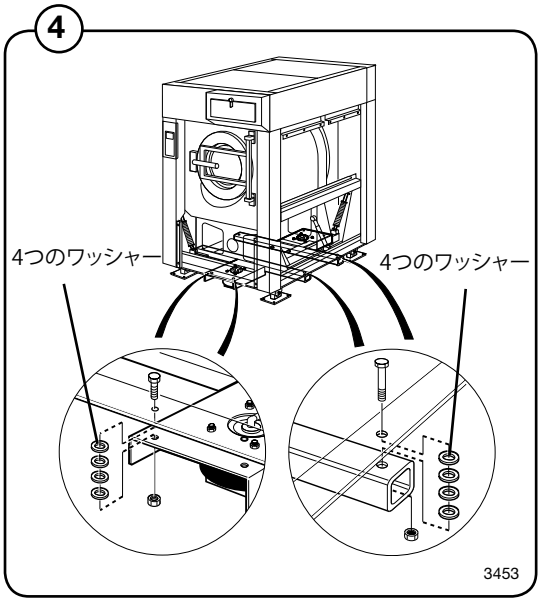
3 前にのみ傾転する機種:

機械フレームの背面部分の下に、機械の横からシリンダユニットを挿入してください。

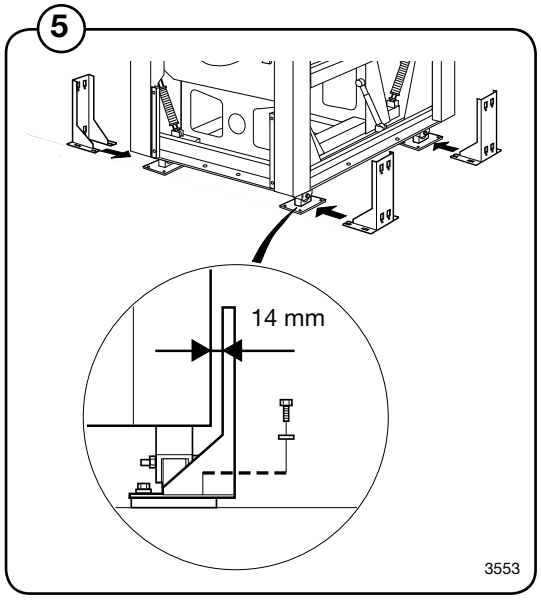


④ 4個のボルトとナットを用いてシリンダユニットを固定します。

各シリンダユニットと機械フレームの間に、必ず4個のワッシャー（各5ミリ厚）をはめてください（図を参照）。

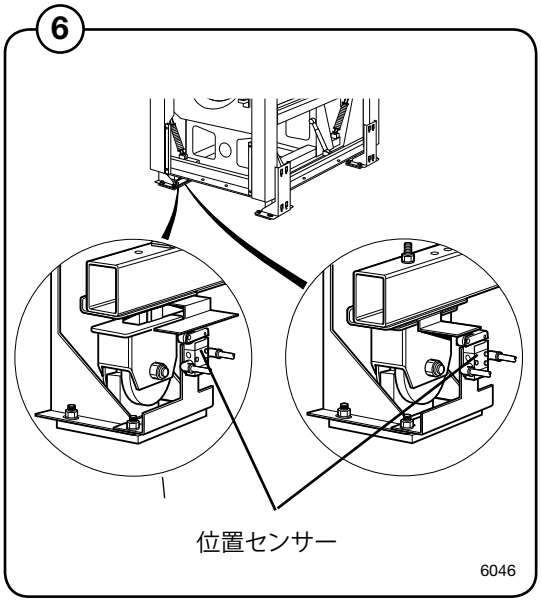


⑤ 機械の脚部をフロアに固定するボルトを用い、機械の四つの角にそれぞれコーナーポストをはめてください。コーナーポストの上部と機械の間の隙間が14ミリになるよう調整します。



⑥ <u>前後両方に傾く機種</u>:

本機械の脚部2本にそれぞれ空気式位置センサーを取り付けてください：左側前部と右側後部に取り付け、対角線状の配置とします。位置センサーは、脚部内側の2個の固定用ボルトを使って、先程取り付けたのコーナーポストに固定します。



前後両方に傾く機種:

空気ベローズと位置センサーに接続する圧縮空気管は、本機械の背面に束ねてあります。

下表に従い、空気ベローズと圧力センサーに空気管を接続してください。空気管はフレームに固定する必要はありません。本機械の下の床面に置いてください。

空気管には、以下の印が付いています。

7

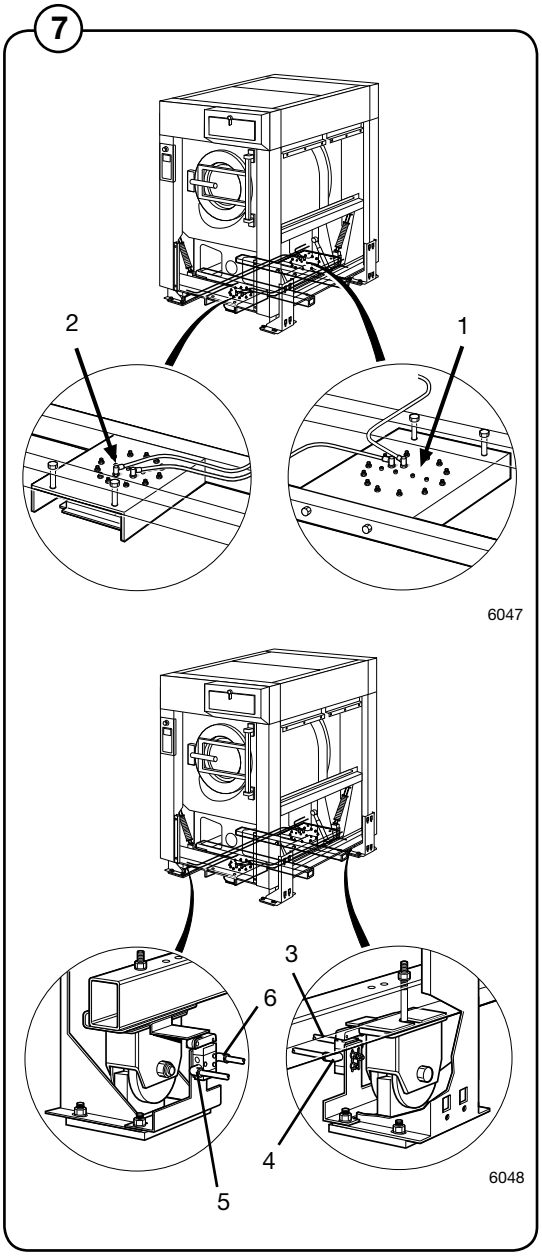
ID 印	接続先
1	背面空気ベローズ
2	前面空気ベローズ
3	背面圧力センサー接続1
4	背面圧力センサー接続2
5	前面圧力センサー接続1
6	前面圧力センサー接続2

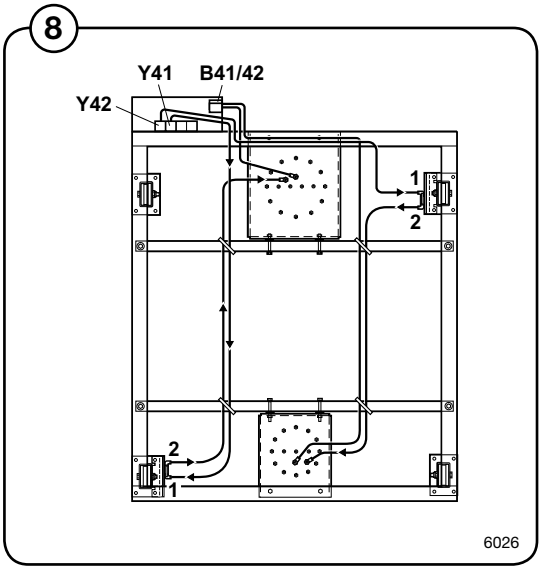
8

圧力センサーのチューブを正確に接続することが必要ですのでご注意ください（図7参照）

– 接続1—データプレートと同じ側

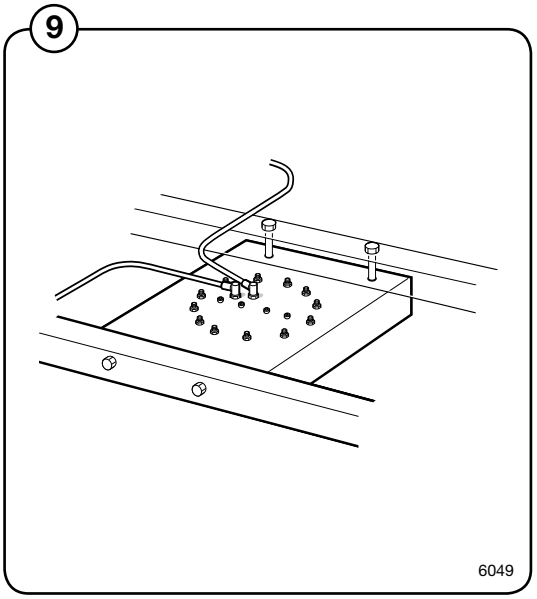
– 接続2—はめ込み白プレートと同じ側





9 前にのみ傾転する機種:

空気ベローズに接続する圧縮空気管は、本機械の背面に束ねてあります。空気管をベローズの上面の接続ニップルに接続してください。



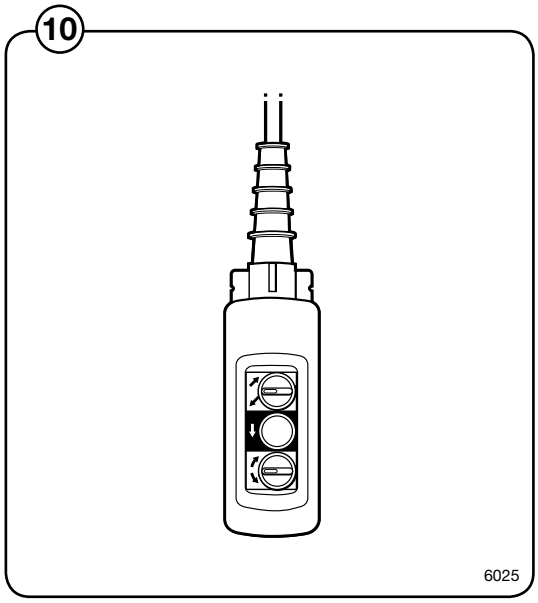
(10) パネルを再度取り付ける前に、傾転機能をテストしてください。

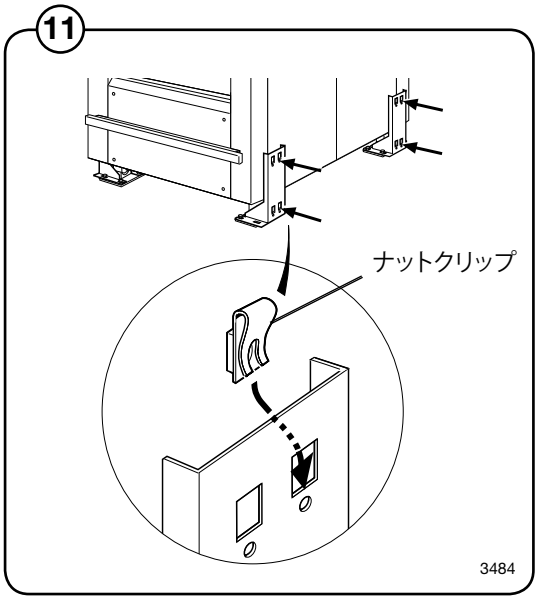
- 本機械の電気スイッチをオンにして、圧縮空気源を稼動してください。
- ドアを開き、開いたままロックしてください。
- 傾転コントロールユニット最上部のスイッチは、機械を後ろ向き（スイッチを反時計回り）または前向き（スイッチを時計回り）に傾転させます。中央のスイッチは、機械を通常（直立）の位置に戻します。これらのスイッチは、傾転運動中、作動させ続けなければなりません。スイッチを放すと、傾転は停止し、機械はその位置で止まります。
- コントロールユニット中の最下部のスイッチは、ドラムを時計回りあるいは反時計回りに回転させます。
- 機械が傾転した後は、通常の位置に一度戻るまで、反対の方向に傾転することはできないことを確認してください。
- 圧縮空気管あるいはベローズ、センサーから漏れがないことを確認してください。

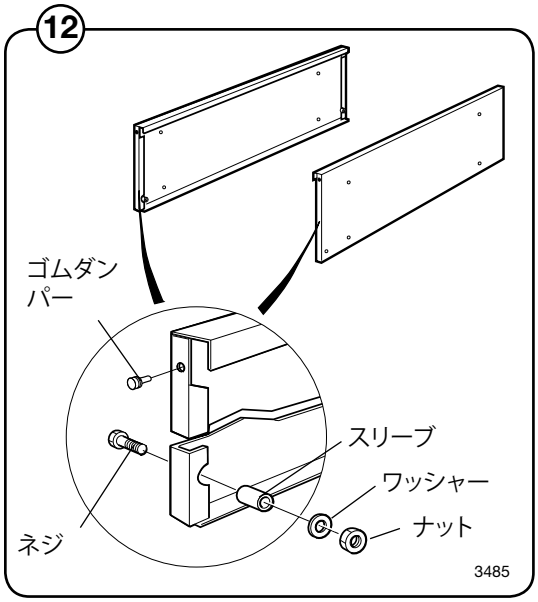
テストの結果が問題なければ、機械パネル／カバーを再度取り付けます。

(11) 各コーナーポストに2個のナットクリップを付けます。ナットクリップは、コーナーポストの背面の溝に入れてください。

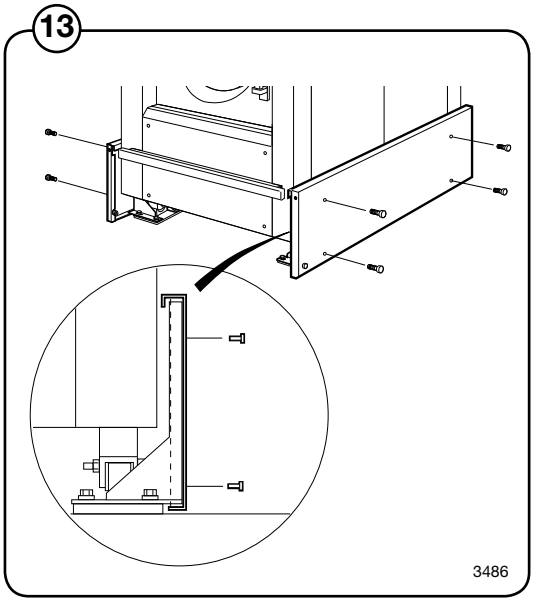
(12) ゴムダンパーとスリーブを、両側のパネルストリップの前端に取り付けてください。



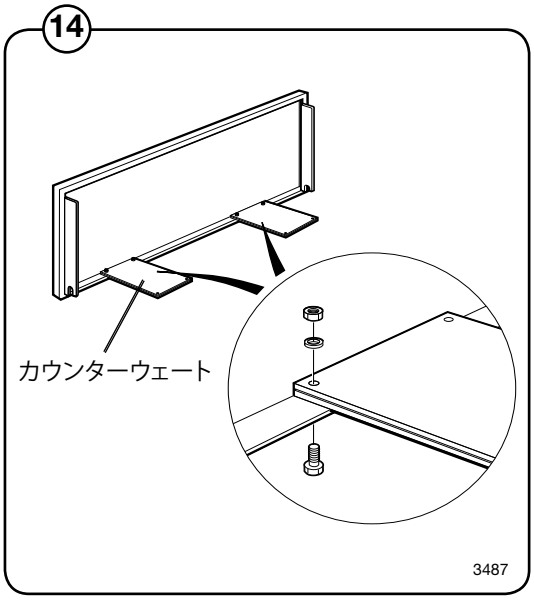




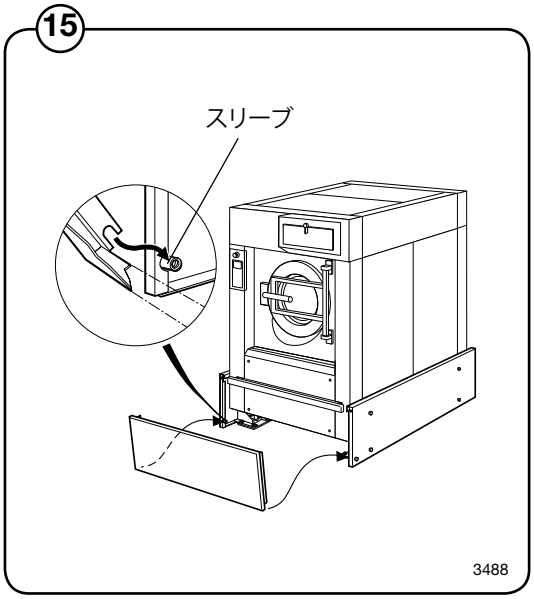
(13) 側面パネルストリップを位置決めし、固定してください。



(14) 2つのカウンターウェートを前面パネルストリップに取り付けます。ボルト頭部が下向きであることを確認してください。



(15) 前面パネルストリップを、側面ストリップに付けた2つのスリーブに乗せててください。前面と背面に保護プレートを装着します。



Electrolux Laundry Systems Sweden AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electrolux.com/professional

Share more of our thinking at www.electrolux.com